

【令和7年度 社会科授業改善推進プラン】

社会科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

社会科で身に付けさせたい力は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究し解決する活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に必要な公民としての資質や能力である。そのためには、社会に対する関心を高めるとともに、様々な資料等から適切に必要な情報を読み取り、社会的事象について多面的・多角的に考える力が必要である。そこで、今年度も資料から読み取った内容をもとに考察し、ふさわしい用語や言葉を使ってまとめたり、発表したりする授業に重点的に取り組む。また、ふさわしい用語や語句を使って自分の意見を表現できるように、知識・理解の定着を図る。

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	意欲的に授業に臨むことができ、毎授業、自分から発言する生徒が多くみられる。一方、自分の考えを文章化するとき、問いに対して正対できていない生徒や、自分の考えをまとめることが苦手な生徒が一定数いる。	意欲的に授業に参加し、積極的に活動に取り組むことができている。また、社会的事象への興味・関心が高い生徒が多い。 また、昨年度から少しずつ自分の意見を書くことができる生徒が増えている。	知識・理解の深化が見られる生徒が多い。また、授業に対しても主体的に参加することができるようになってきた。一人1台学習者用端末の活用についても効果的に行うことができる。
指導上の課題	考えを論理的に説明する力に課題がある生徒がいる。授業アンケートでは授業の進度が速いという意見が1件あった。	各授業の学習課題や単元のまとめに対して、正対できていない生徒がいる。また、自分の考えを表現することに課題がある生徒がいる。	自分の意見を表現する場の設定が不十分であることが課題である。また、学習課題に対するまとめを記述することが苦手な生徒がいる。

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元学習シートを活用して授業内容を自らの言葉でまとめる。 ・ プリントを活用して、知識を増やし、単元ごとにテストを実施し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを表現する場面を増やし、学習活動を充実させる。 ・ 単元ごとにテストを実施し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをまとめ、表現する場面を設けることで学習活動を充実させていく。 ・ ワークを活用してさらに知識を増やし、毎週テストを実施することで、知識の定着を図る。
指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元学習シートに授業で感じた疑問を書いて学習内容を整理してもらい、疑問を質問するよう指導する。 ・ 単元の終末で、自分の考えについて意見や根拠、具体例を明示して記述するよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを表現する場面を増やし、教員と生徒、生徒と生徒などの対話を中心とした授業を実践していく。 ・ 自分の考えを表現しやすい問いを意図的に設定し、繰り返し取り組むことで自分の考えを表現する機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを表現する場面を増やす。また、学習課題に対して、全体で整理をしてから、まとめの記述時間を設けるようにする。 ・ 生徒の学習活動を丁寧に見取り、そこで見いだされた課題について、PDCAサイクルで授業を改善していく。

評価

- ①授業アンケート結果による達成度評価
- ②小テストや定期テスト観点別学習状況による評価
- ③提出物による評価